



GE ヘルスケア・ジャパン、第 10 回「Signa 甲子園 2014」を開催
MRI の先進的な撮像技術のアイデアを共有し、診断の標準化・質向上を図る
～ 新潟大学医学歯学総合病院(新潟 UM) 斉藤宏明先生が金賞を受賞 ～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、社長:川上潤)は 12 月 6 日(土)、MRI(磁気共鳴断層撮影装置)の先進的な撮像技術の共有を通じて、MRI 診断の標準化やレベルアップを図る「Signa 甲子園 2014」(MR Signa ユーザーズミーティング・全国大会)を下記の通り、開催しました。

MRI の画像は操作を担当する放射線技師や臨床検査技師のテクニックに依存する面が大きいと、当社では GE MR ユーザーがそれぞれの撮像技術の創意工夫などの情報交換や交流を行う「Signa ユーザーズミーティング」を全国各地で開催しています。また、さらなる交流を図り、操作担当者に先進的な撮像技術を身につけていただくために、2005 年よりユーザーズミーティング(UM)の全国大会である「Signa 甲子園」を実施しています。10 回目にあたる今回の「Signa 甲子園 2014」では、約 150 名の全国の Signa ユーザーの出席のもと、地方予選を突破した 10 代表がコンテスト形式で撮像技術の共有を図りました。実力伯仲する各代表の発表の結果、最優秀の金賞には、新潟 UM、新潟大学医学歯学総合病院の斉藤宏明先生による「Signa におまかせ! 呼吸同期 EOB 肝細胞造影相」が選ばれました。また、今回から全発表者が TED 方式での発表を行い、その中から、「固定観念を変える! 顎関節撮影」を発表された京滋 UM、公立甲賀病院の中村 智洋先生が最も優れたプレゼンターとして大会特別賞を受賞しました。また、同コンテストの終了後、12 月初めの RSNA(北米放射線学会)で発表された GE ヘルスケアの最新テクノロジーを紹介する「GE Healthcare MR 最新技術紹介」が実施され、最後に特別講演として大阪府立母子保健総合医療センター放射線科の石黒秋弘先生から、「子どもに優しい MR 検査をめざして」と題し、毎日多くのお子さんの MR 検査を行っている施設として、小児患者の鎮静の実情、今春より使用されている SILENT Scan 使用経験などについて、ご講演いただきました。(当日の詳細は次ページをご参照ください)。

記

日 時: 2014 年 12 月 6 日(土)15:00~19:30
 会 場: 京都リサーチパーク パズホール
 主 催: GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
 企画・運営: Signa 甲子園 2014 実行委員会
 実行委員長: 大阪医科大学附属病院 山村 憲一郎先生
 スケジュール:



- MRI撮像技術コンテスト(全国10代表が発表)
- GE Healthcare MR最新技術紹介
- 特別講演
「子どもに優しいMR検査をめざして」
大阪府立母子保健総合医療センター 放射線科 石黒秋弘先生
- 表彰式

「Signa 甲子園 2014」開催報告

「Signa 甲子園 2014」は 12 月 6 日(土)、京都リサーチパーク バズホール(京都市)にて、約 150 名の GE MR ユーザーの参加のもと開催されました。Signa 甲子園は 2005 年に東京にて第 1 回が実施されて以降、毎年開催されており、今回で記念すべき 10 回目を迎えました。

今年は全国 22 のユーザーズミーティングが予選に参加。その中から、Signa 甲子園実行委員会の厳正な審査のもと、10 名の代表が選ばれました。当日はこの 10 名の代表が、実際の臨床に即応可能な演題を次々と発表しました。今回より、実行委員会が昨年からの提案した新たな発表方式として、壇上を自由に使い、身振り手振りで発表する TED (Technology Entertainment Design) 方式が取り入れられ、全発表者がこの新たな TED 方式にチャレンジして発表。また、特別講演の石黒先生や山村実行委員長のご挨拶においても TED 方式が取り入れられ、本大会をさらに盛り上げるものとなりました。全代表の発表終了後、各ユーザーズミーティングの審査員および会場の参加者が、各代表の「画質」・「創意工夫」・「臨床的実用性」を総合的に評価し、以下の通り 3 名の入賞者が決定しました。

金賞:新潟 UM 新潟大学医学歯学総合病院 斉藤宏明先生

発表演題:「Signa におまかせ! 呼吸同期 EOB 肝細胞造影相」

発表要旨: 腹部の造影 MR 検査である EOB・プリモビストの肝細胞造影相は、臨床検査においてとても重要な撮像となる。しかし、状態の悪い被検者の場合、長い息止めが必要な撮像が困難となり検査に影響を及ぼすことがある。この問題を解消するアイデアを発表した。また、本アイデアは多くの GE の MR 装置において対応可能な手法であり、その高い汎用性についても説明された。

銀賞:神奈川 UM 川崎幸病院 中 孝文先生

発表演題:「non-high spec machine における FOCUS-like DWI による高分解能拡散強調画像」

発表要旨: MR 検査において拡散強調画像は多くの臨床情報をもたらす反面、他の撮像法に比べて空間分解能が低下すると言われている。この拡散強調画像について最新の MR 装置でなくても高分解能での撮像を可能とするアイデアが発表された。

銅賞:多摩 UM 東海大学医学部付属八王子病院 藤川博司先生

発表演題:「Diffusion-weighted MR neurography」

発表要旨: 拡散強調画像による腰椎の神経根の描出について、これまで問題となっていた神経の連続性を改善する方法が発表された。また、本アイデアについても多くの GE の MR 装置において対応可能な手法であり、その高い汎用性についても説明された。

また、今大会では最も優れた TED 方式でのプレゼンテーションを行った発表者に大会特別賞として表彰を行いました。

大会特別賞:京滋 UM 公立甲賀病院 中村智洋先生

発表演題:「固定観念を変える! 顎関節撮影」

発表要旨: これまでの顎関節検査では臨床検査で望まれる十分な画質が得られなかった点に着目し、それを改善するための撮像コイルおよび患者さんの固定について検討。固定概念にとらわれないアイデアが、TED の手法を用いて発表されました。

表彰式では、今回の「Signa 甲子園 2014」で実行委員長を務めた大阪医科大学附属病院 山村憲一郎先生から入賞者に楯の贈呈が行われ、それぞれの発表に対してコメントをいただきました。

今回は 10 回目の記念大会という節目ということもあり、これまで Signa 甲子園を第 1 回大会から運営・企画に実行委員長および顧問として携わってきた神奈川 UM、横浜栄共済病院の高橋光幸先生に特別功労賞が贈られ、過去の実行委員会を代表して、今大会の実行委員長を務めた山村先生より感謝盾を授与しました。

Signa 甲子園の大きな特長のひとつとして、全国の MR ユーザーの交流を深めることがあげられます。毎年、大会では全国様々な UM での情報交換を含め、ユーザー同士の親交が深められています。

また、もう一つの特長として、発表されたアイデアが大会後に MR ユーザーの各施設ですぐに活用できることです。発表された内容は GE MR ユーザーの Community Site である『Signa・る』*で公開されます。この Web サイト

トで発表の様子が確認できるため、多くの MR ユーザーがさまざまなアイデアを臨床検査で活用できます。昨年の発表スライドについても現在、『Signa・る』で公開されています。この「Signa・る」は開設後約 10 年で、約 2700 名以上のユーザー登録を獲得しています。

*Signa・る: https://gecommunity.on.arena.ne.jp/signa-l_entrance/index.html

最後に特別講演として、大阪府立母子保健総合医療センター 放射線科 石黒秋弘先生から、「子どもに優しい MR 検査をめざして」についてご講演お話しいただきました。一定の時間 MR 装置の中に身体を置くために、子どもの撮影時は鎮静の為に種々の経口薬や注射などが行われている現状が紹介され、「何が『患者にとって優しい検査となるのか』については、なるべく時間を短く、静かな環境での検査を提供することとなるでしょう。MR 検査は嫌だ、とお子さんに思われたい、やさしい検査を目指したい」と述べられました。この施設では、今年春から SILENT Scan を導入、MR の最新技術である体動補正や SILENT Scan の技術を使って MR 検査を行っているそうです。

当社ではこのようなユーザーズミーティングの開催を、MRI のみならず、CT や PET、核医学装置、超音波診断装置など他の製品群にまで拡大しているほか、開催地域を国内だけでなく世界各国に広がっています。

当社では最先端の技術開発に努め、時代のニーズに合った製品を市場に投入していくとともに、複雑高度化する診断装置の性能をフルに引き出してもらえよう、ユーザーの方々のアイデアや工夫も共有しながら、顧客サポートにより一層注力していきます。



Signa 甲子園 2014 受賞者

(写真左より)

中村先生、斉藤先生、中先生、山村先生、藤川先生、今井先生
(山村・今井先生は実行委員)

Signa 甲子園 2014 の発表演題と発表者(UM : User's Meeting)

UM 名	演題名	所属名	演者名(敬称略)
青森 UM	脳血管内ステント内の MRA	青森県立中央病院	佐藤 兼也
新潟 UM	Signa におまかせ! 呼吸同期 EOB 肝細胞造影相	新潟大学医歯学総合病院	斉藤 宏明
千葉 UM	Subtraction 併用 2D Spiral TOF MRA を 用いた鎖骨下動脈の描出	船橋市立医療センター	桜井 章二
埼玉 UM	胸椎だって CHESSE でしょ!!	上尾中央総合病院	矢島 慧介
東京 UM	手間をかけずに MIP 画質改善 ～ MIP は 2 度がけがおいしい ～	四谷メディカルキューブ	金親 純一
神奈川 UM	non-high spec machine における FOCUS-like DWI による 高分 解能拡散強調画像	川崎幸病院	中 孝文
多摩 UM	Diffusion-weighted MR neurography	東海大学医学部附属八王子病院	藤川 博司
京滋 UM	固定観念を変える! 顎関節撮影	公立甲賀病院	中村 智洋
広島 UM	こんなに簡単で綺麗、しかも確実 3DV-Portography	JA 尾道総合病院	上中 治
四国 UM	透析シャント MR-Angiography - Inhance 3D Velocity-	十全総合病院	徳永 高之

GE ヘルスケア・ジャパンについて

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、世界が直面する困難な課題解決に取り組む GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、1982 年に設立されました。国内に開発、製造から販売、サービス部門までを持ち、日本のお客様のニーズにお応えする、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスをお届けしています。CT や MRI、超音波診断装置などの医療用画像診断から、体内診断薬、細胞解析装置などのライフサイエンス(生命科学)まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現を目指します。2014 年 4 月 1 日現在の社員数は 2,100 名、国内に本社および 54 カ所の事業拠点。

ホームページアドレスは www.gehealthcare.co.jp (ライフサイエンス統括本部: www.gelifesciences.co.jp)。

<お問い合わせ先>
 GE ヘルスケア・ジャパン (株) コミュニケーション本部 松井
 Tel: 0120-202-021